

# 経済・金融概況

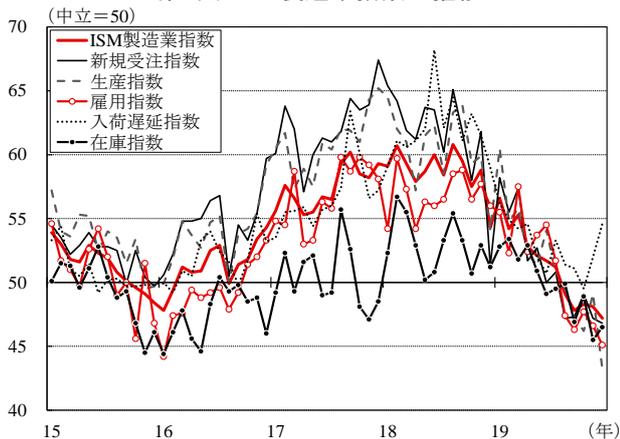
## [米国]

### 1. 企業活動

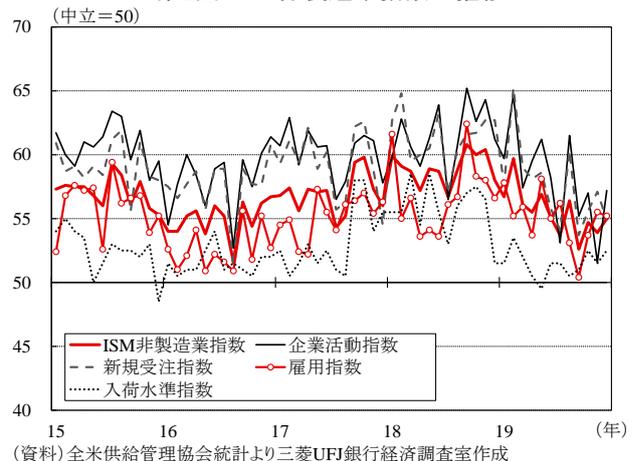
製造業の景況感・活動状況を表す ISM 製造業指数は 2019 年 12 月に 47.2 と、前月比 ▲0.9 低下し、拡大・縮小の境目となる 50 を 5 ヶ月連続で下回った（第 1 図）。産業別にみると、18 産業のうち 3 産業が前月から活動の拡大を報告し、15 産業が縮小を報告した（11 月は 5 産業が拡大、13 産業が縮小を報告）。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数は 54.6（同+2.6）、在庫指数は 46.5（同+1.0）へ夫々上昇した一方、新規受注指数は 46.8（同▲0.4）、生産指数は 43.2（同▲5.9）、雇用指数は 45.1（同▲1.5）へ夫々低下した。前月比で大幅に低下した生産指数は 2009 年 4 月以来の低水準となった。製造業指数は前月から低下したが、当調査の責任者であるフィオレ氏によると、昨年 12 月 13 日に発表された米中通商協議の「第 1 段階」合意を受けて改善の兆候が出ている産業もある。

非製造業の景況感・活動状況を表す ISM 非製造業指数は 2019 年 12 月に 55.0（前月比 +1.1）へ上昇した（第 2 図）。産業別にみると、18 産業のうち 11 産業が前月から活動の拡大を報告し、6 産業が縮小を報告した（11 月は 12 産業が拡大、5 産業が縮小を報告）。指数の構成項目をみると、企業活動指数は 57.2（同+5.6）、入荷水準指数は 52.5（同+1.0）へ夫々上昇した一方、新規受注指数は 54.9（同▲2.2）、雇用指数は 55.2（同▲0.3）へ夫々低下した。前月から大幅に上昇した企業活動指数について回答企業は「11 月はなぜか低調だったが、12 月は通常通りの水準へ回復している」などとコメントした。

第1図: ISM製造業指数の推移



第2図: ISM非製造業指数の推移

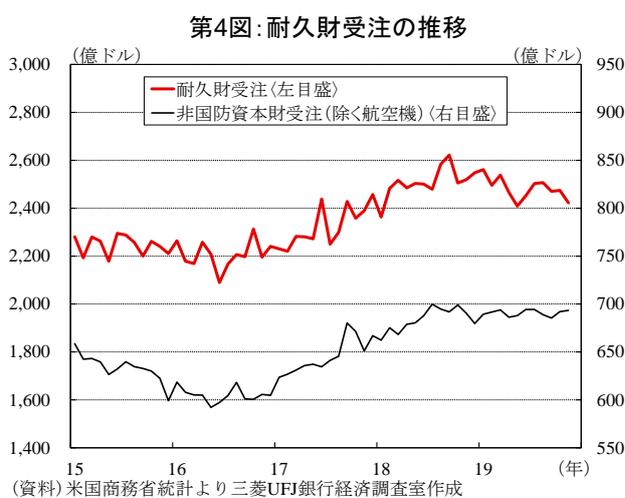
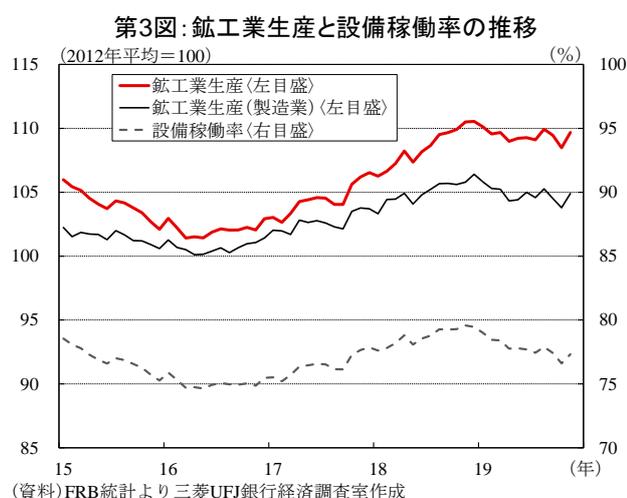


### 2. 生産

2019 年 11 月の鉱工業生産は前月比+1.1%と 3 ヶ月ぶりに増加した（10 月：同▲0.9%）（次頁第 3 図）。内訳をみると、全体の 75%程度を占める「製造業」が同+1.1%、「公益事業」が同+2.9%夫々増加した一方、「鉱業」が同▲0.2%減少した。「製造業」の増

加には9-10月に大手自動車メーカーGMのストライキによって生産が急減していた「自動車・同部品」の反動増（同+12.4%）が寄与した。設備稼働率は77.3%と前月から同+0.7%ポイント上昇した。

2019年11月の耐久財受注は前月比▲2.1%となり（10月：同+0.2%）、2019年5月以来の減少幅となった（第4図）。内訳をみると、全体の3割強を占める「輸送用機器」が同▲5.9%と大きく減少し、なかでも「国防航空機・同部品」が同▲72.9%減少した。設備投資の先行指標とされる非国防資本財受注（除く航空機）は11月に前月比+0.2%と2ヵ月連続で増加した。

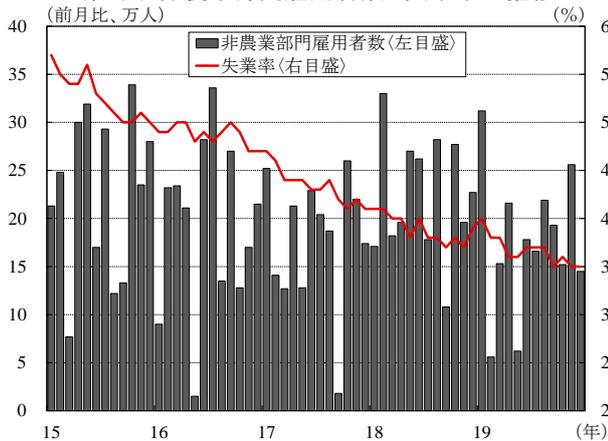


### 3. 雇用・個人消費

2019年12月の非農業部門雇用者数は前月比+14.5万人増加し、11月（同+25.6万人）から伸びが鈍化した（次頁第5図）。10月の増加幅は0.4万人下方改定されて同+15.2万人となり、11月の増加幅も1.0万人下方改定された。業種別の内訳をみると、「小売業」（同+4.1万人）、「娯楽・ホスピタリティ」（同+4.0万人）、「教育・医療・社会扶助」（同+3.6万人）、「建設業」（同+2.0万人）などが増加した一方、「製造業」（同▲1.2万人）、「輸送・倉庫」（同▲1.0万人）は減少した。「小売業」の雇用者数は2019年に入って8月まで減少していたが、9月以降は増加傾向にあり、年末商戦が堅調に推移した可能性を示唆している（次頁第6図）。

2019年12月の時間当たり平均賃金（民間部門）は前月比+0.1%と11月（同+0.3%）から減速し、前年比でも+2.9%と11月（同+3.1%）から減速した（次頁第6図）。12月の失業率は3.5%と前月比横這いであった。労働参加率は63.2%と前月から不変であった。

第5図:非農業部門雇用者数と失業率の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第6図:小売業雇用者数の推移

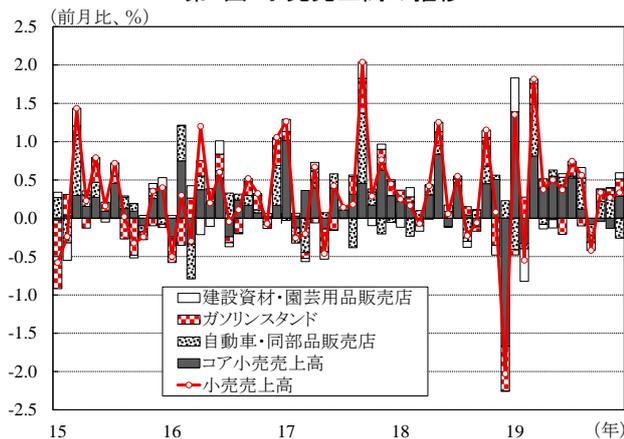


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2019年12月の小売売上高は前月比+0.3%増加し、11月と同程度の伸びであった(第7図)。内訳をみると、「ガソリンスタンド」(同+2.8%)、「衣服販売店」(同+1.6%)、「建設資材・園芸用品販売店」(同+1.4%)などが増加した一方、「自動車・同部品販売店」(同▲1.3%)は減少した。前年比では+5.8%増加した。

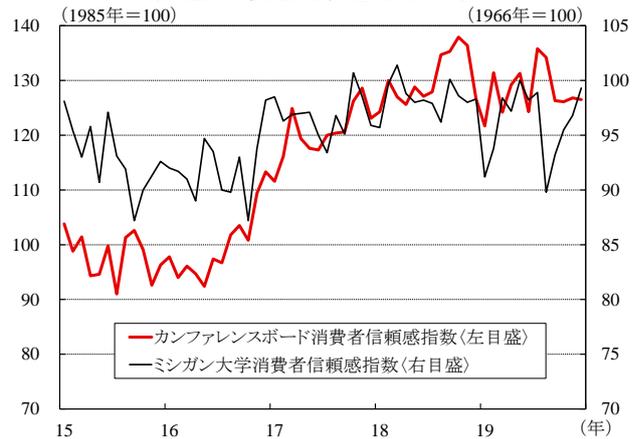
消費者マインドをみると、2019年12月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は126.5(前月比▲0.3)と小幅に低下した(第8図)。内訳をみると現況指数は同+3.4上昇した一方、期待指数は同▲2.9低下した。期待指数の低下の背景は「雇用・所得に関する期待」の弱まりであり、調査責任者のフランコ氏は「2020年上半旬に消費の勢いが加速することは期待しづらい」と述べている。

第7図:小売売上高の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第8図:消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

#### 4. 住宅

2019年11月の住宅着工戸数は前月比+3.2%増加し、年率136.5万戸(季節調整済)となった(次頁第9図)。内訳をみると、一戸建住宅は同+2.4%増加して年率93.8万戸となったほか、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同+4.9%増加して年率42.7万戸と

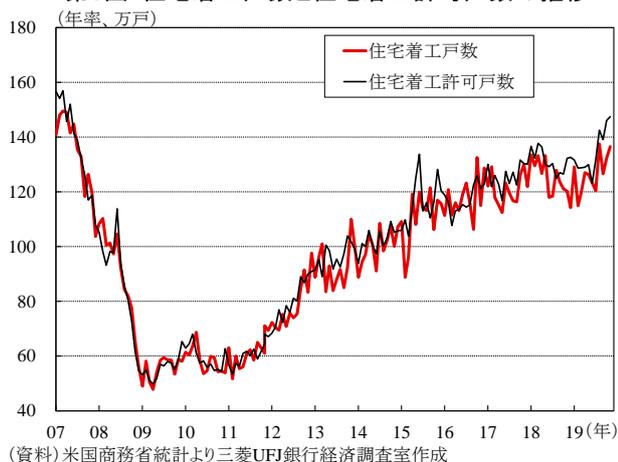
なった。また、着工戸数の先行指標である住宅着工許可戸数は同+0.9%増加して年率147.4万戸となり、2007年5月以来の高水準となっている。

住宅販売について、中古住宅販売戸数<sup>(注1)</sup>は11月に前月比▲1.7%の年率535.0万戸(季節調整済)となり、10月の増加(同+1.5%)から減少に転じた(第10図)。11月の在庫率は3.7ヵ月と10月(3.9ヵ月)から低下し、販売価格(中央値)は前年比+5.4%の271,300ドルとなり、2012年3月より上昇が続いている。販売統計を発表している全米不動産協会(NAR)は「11月の販売減少は在庫が低水準であることに起因する小幅な振れであり、懸念する必要はない」としている。

新築住宅販売戸数は11月に前月比+1.3%増加し年率71.9万戸(季節調整済)となった。3ヵ月移動平均では年率72.0万戸と、2007年9月(年率72.1万戸)以来の高水準となった。11月の在庫率は5.4ヵ月と10月(5.5ヵ月)から低下し、販売価格(中央値)は330,800ドルと前年比+7.2%上昇した。

(注1) 中古住宅販売は住宅販売戸数の9割程度と大半を占める。

第9図:住宅着工戸数と住宅着工許可戸数の推移



第10図:住宅販売戸数の推移



## 5. 物価

2019年12月の消費者物価指数は前月比+0.2%となり、11月(同+0.3%)から減速した。内訳をみると、「エネルギー」(同+1.4%)、「医療サービス」(同+0.4%)、「住居」(同+0.2%)などが上昇した一方、「自動車」(同▲0.3%)は低下した。前年比では+2.3%となり、2018年10月以来の高い伸びとなった(次頁第11図)。「食品」と「エネルギー」を除いたコア消費者物価指数は、前月比で+0.1%と11月(同+0.2%)から減速し、前年比は+2.3%で11月と同率であった。

12月の生産者物価指数は前月比+0.1%と上昇した(11月:0.0%)。内訳をみると、「財」が同+0.3%上昇した一方、「サービス」は横這いであった。財の上昇には「エネルギー」(同+1.5%)が寄与し、うち「ガソリン」は同+3.7%上昇した。サービスでは「商業サービス」(同▲0.3%)<sup>(注2)</sup>等が低下したが、「輸送・倉庫サービス」(同

+2.7%)等は上昇した。生産者物価指数は前年比では+1.3%となり、11月(同+1.1%)から加速した(第12図)。「食品」と「エネルギー」を除いたコア生産者物価指数は前月比+0.1%となり、11月の低下(同▲0.2%)から上昇に転じた。前年比では+1.1%と、4ヵ月連続で減速した。

(注2)「商業サービス」には卸売業者や小売業者のマージンが含まれる。

第11図:消費者物価指数の推移



第12図:生産者物価指数の推移



## 6. 国際収支

2019年11月の貿易収支(財・サービス)は赤字幅が前月比▲8.2%縮小して431億ドルとなり、2016年10月以来の低水準となった(次頁第13図)<sup>(注3)</sup>。財収支は639億ドルの赤字で赤字幅は同▲5.7%縮小、サービス収支は208億ドルの黒字で黒字幅は同▲0.2%縮小した。1-11月累計の貿易赤字(財・サービス)は5,630億ドルとなり、前年比▲0.7%(同▲39億ドル)縮小した。前年比で貿易収支が改善している主な要因は輸入の減少であり、具体的には「鉱工業用品(石油製品含む)」、「資本財(自動車除く)」などが減少した。

財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の4割程度を占める中国に対する貿易赤字は、1-11月累計で同▲16.1%(同▲613億ドル)縮小し3,918億ドルとなった。一方、中国以外の国・地域に対する貿易赤字(1-11月累計)は、同+11.6%(同+482億ドル)拡大した。対EU貿易赤字は同+6.3%(同+97億ドル)拡大し1,632億ドルとなっているほか、対カナダ(同+23.2%)、対メキシコ(同+27.8%)、対韓国(同+16.0%)、対台湾(同+51.6%)となった。

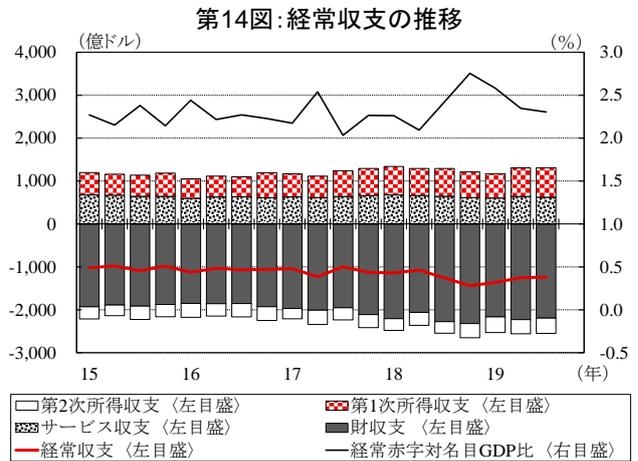
2019年7-9月期の経常収支は1,241億ドルの赤字となり、赤字幅は前期比▲11億ドル(同▲0.9%)縮小した(次頁第14図)。経常赤字の対名目GDP比は2.3%となり、前期と同じだった。内訳をみると、財収支は2,196億ドルの赤字となり赤字幅が前期比▲37億ドル縮小、サービス収支は622億ドルの黒字となり黒字幅が同▲19億ドル縮小、第1次所得収支は687億ドルの黒字となり黒字幅が同+21億ドル拡大、第2次所得収支は355億ド

ルの赤字となり赤字幅が同+27億ドル拡大した。財収支の内訳をみると、財の輸出は同▲9億ドル、財輸入は同▲45億ドル夫々減少している。

(注3) 貿易収支は国際収支ベース。但し、国・地域別内訳は通関ベース。



(注) 国際収支ベース。  
(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料) 米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 7. 金融市場動向

10年物国債利回りは、1月3日に米国がイラン革命防衛隊コッズ部隊のソレイマニ司令官を殺害したとの発表を受け、リスク回避志向の強まりから大幅に低下した。その後1月8日に米国がイランによる米軍駐留拠点の攻撃に対する報復措置として軍事力を行使しない意向を示唆したことからリスク回避志向が弱まり、10年物国債利回りは上昇している(第15図)。

ダウ平均株価は、米中通商協議の「第1段階」の正式署名への期待から上昇基調を維持し、署名が完了した1月15日に終値で初めて29,000ドルを越えた(第16図)。



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表：主要月次経済指標の推移

	19年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
企業活動・生産	ISM 製造業指数	54.2	55.3	52.8	52.1	51.7	51.2	49.1	47.8	48.3	48.1	47.2
	ISM非製造業指数	59.7	56.1	55.5	56.9	55.1	53.7	56.4	52.6	54.7	53.9	55.0
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	109.6	109.7	109.0	109.2	109.3	109.1	109.9	109.5	108.5	109.7	-
	前月比(%)	▲0.5	0.1	▲0.6	0.2	0.0	▲0.2	0.8	▲0.4	▲0.9	1.1	-
	設備稼働率(%)	78.5	78.4	77.8	77.8	77.7	77.4	77.9	77.4	76.6	77.3	-
	製造業受注(億ドル)	4,968	5,033	4,972	4,907	4,934	5,002	4,996	4,956	4,966	4,930	-
	前月比(%)	▲1.0	1.3	▲1.2	▲1.3	0.5	1.4	▲0.1	▲0.8	0.2	▲0.7	-
うち耐久財受注(億ドル)	2,496	2,538	2,466	2,409	2,452	2,503	2,507	2,471	2,474	2,422	-	
	前月比(%)	▲2.6	1.7	▲2.8	▲2.3	1.8	2.1	0.2	▲1.5	0.2	▲2.1	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	5.6	15.3	21.6	6.2	17.8	16.6	21.9	19.3	15.2	25.6	14.5
	時間当たり平均賃金(ドル)	27.66	27.71	27.75	27.82	27.91	27.99	28.11	28.12	28.20	28.29	28.32
	前年比(%)	3.4	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.2	3.0	3.1	3.1	2.9
	失業率(%)	3.8	3.8	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7	3.5	3.6	3.5	3.5
	個人所得(年率、億ドル)	183,635	184,455	185,057	185,465	186,154	186,372	187,317	187,864	188,095	189,112	-
	前月比(%)	0.6	0.4	0.3	0.2	0.4	0.1	0.5	0.3	0.1	0.5	-
	個人消費(年率、億ドル)	142,166	143,546	144,525	145,160	145,650	146,444	146,824	147,078	147,592	148,241	-
	前月比(%)	▲0.1	1.0	0.7	0.4	0.3	0.5	0.3	0.2	0.3	0.4	-
	貯蓄率(%)	8.8	8.4	8.0	7.8	7.8	7.6	7.9	8.1	7.8	7.9	-
	小売売上高(億ドル)	5,044	5,136	5,155	5,181	5,201	5,239	5,269	5,247	5,264	5,278	5,296
	前月比(%)	▲0.5	1.8	0.4	0.5	0.4	0.7	0.6	▲0.4	0.3	0.3	0.3
	自動車販売台数(年率、万台)	1,652	1,726	1,648	1,739	1,718	1,688	1,697	1,715	1,652	1,709	1,670
前月比(%)	▲1.1	4.5	▲4.5	5.5	▲1.2	▲1.8	0.6	1.0	▲3.7	3.4	▲2.3	
カンファレンスボード 消費者信頼感指数	131.4	124.2	129.2	131.3	124.3	135.8	134.2	126.3	126.1	126.8	126.5	
ミシガン大学消費者信頼感指数	93.8	98.4	97.2	100.0	98.2	98.4	89.8	93.2	95.5	96.8	99.3	
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	115	120	127	126	123	120	138	127	132	137	-
	前月比(%)	▲11.0	4.4	5.9	▲0.5	▲2.5	▲2.4	14.2	▲7.9	4.5	3.2	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	548	521	521	536	529	542	550	536	544	535	-
	前月比(%)	11.2	▲4.9	0.0	2.9	▲1.3	2.5	1.5	▲2.5	1.5	▲1.7	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	67	69	66	60	73	66	71	73	71	72	-
	前月比(%)	3.9	3.6	▲5.3	▲8.8	21.9	▲9.5	7.3	3.1	▲2.7	1.3	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	252.8	254.2	255.5	256.1	256.1	256.6	256.6	256.8	257.3	257.2	257.0
	前月比(%)	0.2	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.4	0.3	0.2
国際収支	前年比(%)	1.5	1.9	2.0	1.8	1.6	1.8	1.7	1.7	1.8	2.1	2.3
	生産者物価指数(2009年11月=100)	117.1	117.7	118.5	118.6	118.5	118.7	118.8	118.2	118.9	118.4	118.3
	前月比(%)	0.2	0.4	0.5	0.2	▲0.3	0.2	0.2	▲0.3	0.4	0.0	0.1
	前年比(%)	1.9	2.0	2.4	2.1	1.6	1.6	1.9	1.4	1.1	1.1	1.3
輸出(財、億ドル)	1,397	1,413	1,368	1,408	1,370	1,383	1,387	1,368	1,362	1,372	-	
	輸入(財、億ドル)	2,107	2,141	2,087	2,169	2,123	2,119	2,129	2,085	2,040	2,011	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲709	▲728	▲719	▲761	▲752	▲736	▲742	▲717	▲678	▲639	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲507	▲526	▲510	▲544	▲537	▲527	▲535	▲511	▲469	▲431	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。  
(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱UFJ銀行 経済調査室

ニューヨーク駐在 岡田 知恵 cokada-wighe@us.mufig.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。